

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-45182

(43) 公開日 平成10年(1998) 2月17日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 D 83/00			B 6 5 D 83/00	J
A 4 5 D 19/02			A 4 5 D 19/02	B
24/22			24/22	D
34/04	5 5 5		34/04	5 5 5
B 6 5 D 47/42			B 6 5 D 47/42	A

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 5 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平9-84093

(22) 出願日 平成9年(1997) 4月2日

(31) 優先権主張番号 9 6 0 4 1 8 8

(32) 優先日 1996年4月3日

(33) 優先権主張国 フランス (F R)

(71) 出願人 391023932

ロレアル

LOREAL

フランス国パリ、リュ ロワイヤル 14

(72) 発明者 スタニスラ・ドゥ・ネルヴォ

フランス75017パリ、リュ・レオン・ジョ

スト23番

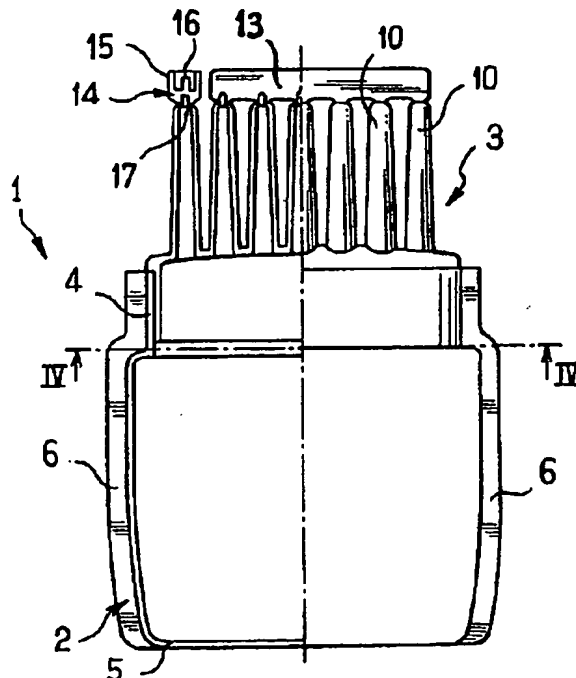
(74) 代理人 弁理士 青山 葆 (外1名)

(54) 【発明の名称】 ヘアケア製品の包装および塗布用装置

(57) 【要約】

【課題】 先行試験の実施および該試験後の再度の密閉が容易であり、塗布時間を短縮でき、均一な着色が容易なヘアケア製品の包装および塗布用装置を提供すること。

【解決手段】 液体または半流動体製品、特にヘアケア用製品を収容するのに適したレセプタクル2、および上記製品を小出しするのに適した中空歯を有する櫛形態のアプリケーションター3からなる、新規な上記製品の包装および塗布用装置1において、上記アプリケーションター3は上記レセプタクル2に最初から固定されており、その歯の1つは独立したスナッポーフ部14によって密閉され、一方でその他の歯は共通のスナッポーフ部13によって密閉されており、上記の独立したスナッポーフ部14は逆さまにしたとき、対応する歯に適したクロージャージャキャップを形成するよう形作られていることを特徴とする装置。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ヘアケア用の液体または半流動体製品を収容するのに適したレセプタクル、および上記製品を小出しするのに適した中空歯を有する櫛形態のアプリケーションターからなるヘアケア用の液体または半流動体製品の包装および塗布用装置において、上記アプリケーションター

(3)は上記レセプタクル(2)に最初から固定されており、その歯の1つは独立したスナプーオフ部(14)によって密閉され、一方でその他の歯は共通のスナプーオフ部(13)によって密閉されており、上記の独立したスナプーオフ部(14)は逆さまにしたとき、対応する歯に適したクロージャーキャップを形成するよう形作られていることを特徴とする装置。

【請求項2】 レセプタクルが、周囲を合わせてヒートシールされる2つのシェル(5)から構成されていることを特徴とする、請求項1記載の装置。

【請求項3】 レセプタクル(2)がアプリケーションターを固定する長円形断面のネック(4)を有することを特徴とする、請求項1または2記載の装置。

【請求項4】 アプリケーションター(3)がレセプタクル(2)のネック(4)にヒートシールされていることを特徴とする、請求項1〜3いずれかに記載の装置。

【請求項5】 アプリケーションターがレセプタクルのネックの上に過剰成形されていることを特徴とする、請求項1〜3いずれかに記載の装置。

【請求項6】 レセプタクルがその底から充填され得ることを特徴とする、請求項5記載の装置。

【請求項7】 レセプタクルがチューブであることを特徴とする、請求項6記載の装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、液体または半流動体のヘアケア製品、特に髪の着色剤または染料の包装および塗布用装置に関し、さらに詳しくは、上記製品を収容するのに適したレセプタクル、および頭髮内で上記製品を小出しするのに適した中空歯を有する櫛形態のアプリケーションターからなる装置に関する。このタイプの装置は頭髮への塗布に要する時間を短縮することができ、製品が染料である場合に均一な着色を容易にする。

## 【0002】

【従来の技術】米国特許US3 477 447号では、染料を収容するレセプタクルのネックにねじ留めするのに適した、中空歯を有する櫛形態のアプリケーションターが開示されている。

【0003】しかしながら、この米国特許で開示されたアプリケーションターは比較的高価な構造を有しているため、先行試験を行いたい場合に使用しにくい。

【0004】また、先行試験時から、後日行われる髪全体への塗布時までの間、染料を適切に貯蔵するために、染料を収容するレセプタクルを再度密閉する必要があ

り、このためにはアプリケーションターを外して、別のクロージャーキャップを元のようにレセプタクルにねじ留めする必要がある、さらにはそのキャップはなくなるかもしれない。

【0005】さらに、上記装置では、先行試験に必要とされるほんの少量の上記製品をレセプタクルから取り出すのは困難である。

## 【0006】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、先行試験の実施および該試験後の再度の密閉が容易であり、塗布時間を短縮でき、均一な着色が容易なヘアケア製品の包装および塗布用装置を提供することを目的とする。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、液体または半流動体製品、特にヘアケア用製品を収容するのに適したレセプタクル、および上記製品を小出しするのに適した中空歯を有する櫛形態のアプリケーションターからなる、新規な上記製品の包装および塗布用装置において、上記アプリケーションターは上記レセプタクルに最初から固定されており、その歯の1つは独立したスナプーオフ部によって密閉され、一方でその他の歯は共通のスナプーオフ部によって密閉されており、上記の独立したスナプーオフ部は逆さまにしたとき、対応する歯に適したクロージャーキャップを形成するよう形作られていることを特徴とする装置に関する。

【0008】従って、上記の独立した歯は、先行試験を行うために少量の製品を小出しするのに用いることができる。

【0009】本発明は、従来技術による装置より操作が容易で、製造コストが低い装置を提供するものであり、このためたった1回の使用だけのための装置の使用を考えられるようにする。

【0010】本発明の他の特性および利点は、以下の詳細な説明中の具体例を読むこと、および添付の図面を試行することによって明らかになるが、本発明はこれらに制限されるものではない。

【0011】図1は本発明の具体例を構成する装置

(1)の、部分的に破断図を有する前面立面図を表す。この装置は液体製品、例えば、髪染料を収容するのに適したレセプタクル(2)、および上記製品を頭髮に小出しするのに適したアプリケーションター(3)からなる。

【0012】具体例において、レセプタクル(2)は熱成形された2つのシェル(5)を合わせて結合することによって構成され、その上端では、長円形断面を有する開口部を明示するネック(4)を有する。

【0013】いずれのシェル(5)も、そのサイドエッジにリム(6)を有しており、リム(6)は他方のシェルの対応するリムと直面してヒートシールされる。

【0014】シェル(5)は相対的に柔軟性のあるプラスチック材料からなることが好ましく、これによって、

レセプタクルに收容されている製品を指圧によってそこから排出させることができる。

【0015】2つのシェル(5)の底部エッジは、平らな底を構成するよう、エッジに対してエッジを直接的に合わせてヒートシールされ、このためレセプタクルを直立させて放置することができる。

【0016】アプリーケーター(3)は柔軟性プラスチック材料を射出成形することによって製造されることが好ましく、より詳しくは図2に示すように基材(7)を含んでおり、この基材は、その上端でドーム形態の壁(9)によって密閉される長円形断面を有するチューブ状スカート(8)によって構成され、上記壁は軸に平行に一定間隔で並んだ複数の中空歯(10)と連結している。

【0017】チューブ状スカート(8)はネック(4)に密接に適合するよう形作られている。

【0018】基材(7)は、チューブ状スカート(8)の向かい合った側面を相互に連結するようその幅を横切って延伸している複数の横断間仕切(11)によって堅くなっており、いずれの間仕切も対の隣接する歯(10)の底部オリフィスの間で上壁(9)に連結し、チューブ状スカート(8)の十分な高さまで実質的に連なって延伸している。

【0019】上壁(9)の周囲はチューブ状スカート(8)を越えて少し突き出ており、図1に示すように基材(7)をネック(4)に完全に挿入するとネック(4)の上端エッジに接触する。

【0020】上記歯(10)は円錐形状を有しており、上にいくにつれ先細りしている。歯の列における2つの両端の歯のうちの1つ、特に図中の左の歯は独立したスナッパーフ部(14)によって密閉されており、このスナッパーフ部(14)はアプリーケーター(3)の残部と複合的に成形されている。その他の歯(10)は共通のスナッパーフ部(13)によって、それぞれの上端で密閉されており、このスナッパーフ部(13)も同様にアプリーケーター(3)の残部と複合的に成形されている。

【0021】より詳しくは、スナッパーフ部(13)は鉛直プレートによって構成され、その底部エッジは薄壁により歯(10)の上端と相互に連結しており、上記薄壁はスナッパーフ部(13)に、その面に対して垂直方向に力をかけると折れるようになっている。

【0022】スナッパーフ部(13)の厚みにおいても、それぞれの歯(10)の軸方向の孔によって内部が連続して中空になっており、このため上記壁を折った後、歯(10)の上端が十分に開口し、レセプタクル(2)に收容されている製品がうまい具合に流出可能となる。

【0023】スナッパーフ部(14)の上端は、中央スタッド(central stud)(16)を囲んでいるチュー

ブ状壁(15)によって構成され、その底部は環状薄壁によって歯(10)の円錐壁に連結されており、このため折れると製品は歯(10)を通して流出可能になる。

【0024】スナッパーフ部(14)の底部は、内部が歯(10)の中央孔と連続して中空であり、このためその流出口オリフィスは十分に開口している。

【0025】スナッパーフ部(14)は分離した後、逆さまにすると、歯(10)の上端に噛み合わせることができ、そのときスタッド(16)は歯(10)の上部オリフィス(17)に嵌合しながら、一方でチューブ状壁(15)は歯(10)との摩擦により保持されている。

【0026】レセプタクル(2)が充填された後は、上壁(9)がネック(4)の上端エッジ(18)に接触して、ネック(4)がチューブ状スカート(8)の周囲と密接的に適合するまで、より詳しくは図4の断面図に示すように、アプリーケーター(3)をネック(4)に挿入する。

【0027】その後、レセプタクルのネック(4)は、例えば、略図的に図5に示すように、レセプタクルのネック(4)の外側表面に対して加圧する2つの加熱ジョー(A)によって、チューブ状スカート(8)にヒートシールされる。ネック(4)はアプリーケーター(3)をヒートシールすることによる漏れ止めの方法で密閉される。

【0028】様々な具体例(示さない)においては、アプリーケーターはレセプタクルのネックの上に過剰成形(overmolded)される。

【0029】この場合において、レセプタクルはその底部から充填可能であることが好ましく、例えば、チューブによって構成されることが好ましい。

【0030】アプリーケーターは以下のようにして用いられる。先行試験をするために、図6に示すようにスナッパーフ部(14)単独を折り取り、これによってオリフィス(17)が開く。これは、少量の製品をゆっくり小出しするのに適したエンドピース(end piece)を提供し、それによって例えば、完全な処理の前日における先行試験の実施が可能となる。

【0031】先行試験を行うのに適した量の製品を小出した後は、スナッパーフ部(14)は図7に示すように逆さまにすると、対応する歯(10)のクロージャークャップとして機能する。

【0032】先行試験が満足のいくものである場合、その後スナッパーフ部(13)を折り取り、スナッパーフ部(14)を再度取り去ると、図8に示すように全ての歯(10)が製品の小出しに利用可能になる。

【0033】本発明はもちろん上述の実施例に制限されるものではなく、本発明の範囲を越えない範囲内であればレセプタクル(2)をインフレーション法(blow extrusion)によって製造することができる。



フロントページの続き

(51) Int. Cl.<sup>6</sup>  
// B 05 C 5/00識別記号  
101

庁内整理番号

F I  
B 05 C 5/00技術表示箇所  
101